

各位

株式会社 福岡銀行

シンジケートローンの取組みについて ～ひびき灘開発株式会社に対する産業廃棄物処分場整備資金の取組み～

福岡銀行（頭取 谷 正明）とみずほ銀行（頭取 西堀 利）は、ひびき灘開発株式会社（本社 福岡県北九州市、代表取締役 宮崎 哲、以下、「ひびき灘開発」）に対し、主幹事として下記のとおりシンジケートローンの取組みを行いましたのでお知らせ致します。

弊行では、今後とも、お取引先に対するサービス向上を念頭に、幅広いニーズに積極的にお応えしてまいります。

記

■ 本件シンジケートローンの概要

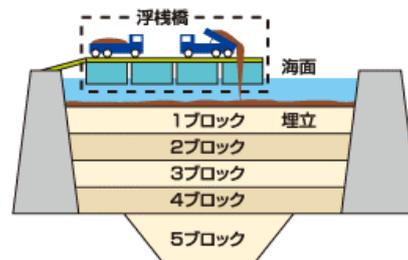
借入可能限度額	20億円
融資期間	14年
資金用途	産業廃棄物処分場整備資金
アレンジャー	福岡銀行・みずほ銀行
エージェント	福岡銀行
参加金融機関	福岡銀行・みずほ銀行、他9行

■ ひびき灘開発について

ひびき灘開発は、北九州市と福岡県及び民間企業の共同出資による第三セクターとして設立以来、産業廃棄物処分事業を通じて、企業の生産活動を支えながら、地域の環境保全に大きな役割を果たしております。

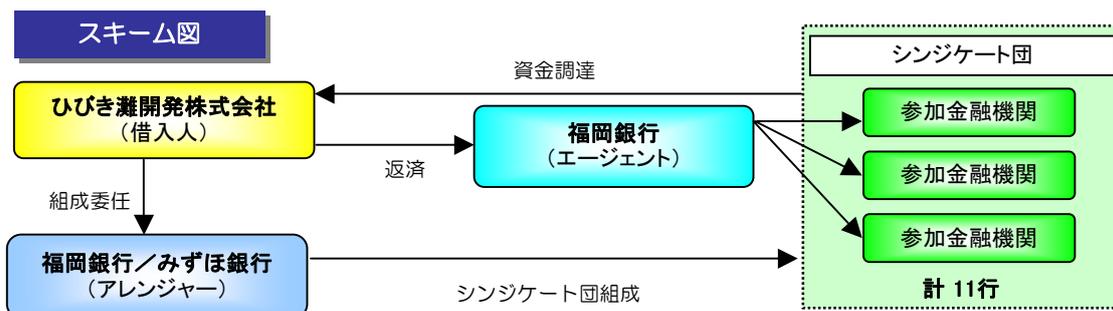
ひびき灘開発の廃棄物処理方法は、「浮棧橋工法」により、浮棧橋上から水中に直接廃棄物を投入するため、悪臭や粉塵の発生が少なく、環境面で優れています。

今回の資金調達により、廃棄物処分能力の増強、長期安定的な処分場の確保を図ります。



■ シンジケートローンについて（ご参考）

- ・ シンジケートローンとは、複数の金融機関がシンジケート団を組成し、一つの融資契約書に基づき同一条件で企業に信用供与を行う方法です。
- ・ 借入人より依頼を受けた幹事行（アレンジャー）が参加金融機関を招聘し、貸付事務代理人（エージェント）が融資実行後の事務管理を行います。
- ・ 大きな規模の資金ニーズを持つ企業にとって、幹事行のみを窓口として多数の金融機関から機動的に資金調達できること、及び融資実行後の返済等もエージェントを通じて行うため事務の効率化が図れると等のメリットがあります。



＜本件に関するお問い合わせ先＞

福岡銀行 ソリューション営業部 大石・藤井
(TEL 092-723-2511)